

台風大島に土砂流死 者13人、行方不明43人



土砂や流木で被害を受けた住宅等=16日午前8時ごろ（東京都提供）

死者13人、行方不明43人（現13時半 在）

大型で強い台風26号の影響で、大島町に大きな被害が出た。

16日未明、元町を流れる大金沢が増水して住宅などが流されたほか、土砂崩れなどもあり、猪瀬都知事によると午後1時30分現在、13人の死亡が確認され、43人が行方不明となっている。

都総務局の発表では、被雪面積は114㌶、被害戸数は283戸に上り、さらに被害がないか確認中。土石流が集落をのみこんだことで被害が拡大したものと見られる。

都は午前10時20分に自衛隊への災害派遣を要請。陸上自衛隊第一師団に対し、同町での行方不明者などの救助を知事名で要請した。また、警視庁は9時26分に特殊救助隊などを派遣。東京消防庁も10時30分にハイレスキュー隊を同町に送った。都以外の自治体による緊急消防援助隊を派遣するよう、総務省消防庁に要請した。

猪瀬都知事は同日午後2時30分から臨時記者会見を開き、大島町に災害救助法の適用を決めたことを明らかにし、前田副知事を本部長とする

現地対策本部を大島支庁に設置する考えを表明。「今後、最大限の支援を行う。都としては、町役場など関係機関と緊密に連携をとって対応していく。120㍉も一気に降って、土石流になるのは予測不可能だと思う。間もなく着くが、前田副知事が行って、速やかに現状を確認した上で次の対策をする。僕は明日、（現地に）行こうと思っているが、報告を受けて決めたい。臨機応変に対応する」などと語った。

「10年に一度」と言われた台風26号は、大島町での1時間雨量は午前3時53分で観測史上最大の122・5㍉を記録。午前8時20分までの24時間雨量は824・0㍉と、これまでの最大雨量（2000年7月8日の412㍉）の2倍となる規模を記録していた。しかし、気象庁は基準に該当しないとして、「特別警報」は発令していなかった。

号外

詳しく述べは18日付の都政新報で

都政新報

発行所 都政新報社

〒160-0023 東京都新宿区

西新宿7-23-1 T Sビル

（総務・読者） 03-5330-8781

（企画広告） 03-5330-8784

（編集） 03-5330-8786

（出版） 03-5330-8788

（ファクス） 03-5330-8808

購読料 月1,680円（税込）

毎週火・金曜日発行

ただし、祝日は休刊

©都政新報社 2013

都政新報購読
お申し込みは
5330-8781